

< 参考資料 >

2号機炉内調査・温度計設置のための TIP案内管健全性確認の実施について

平成25年2月22日
東京電力株式会社



東京電力

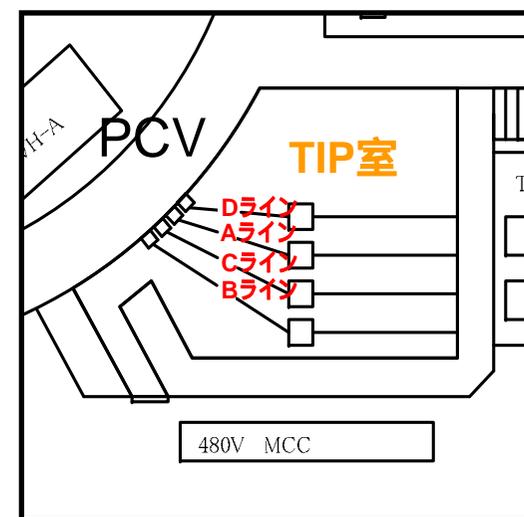
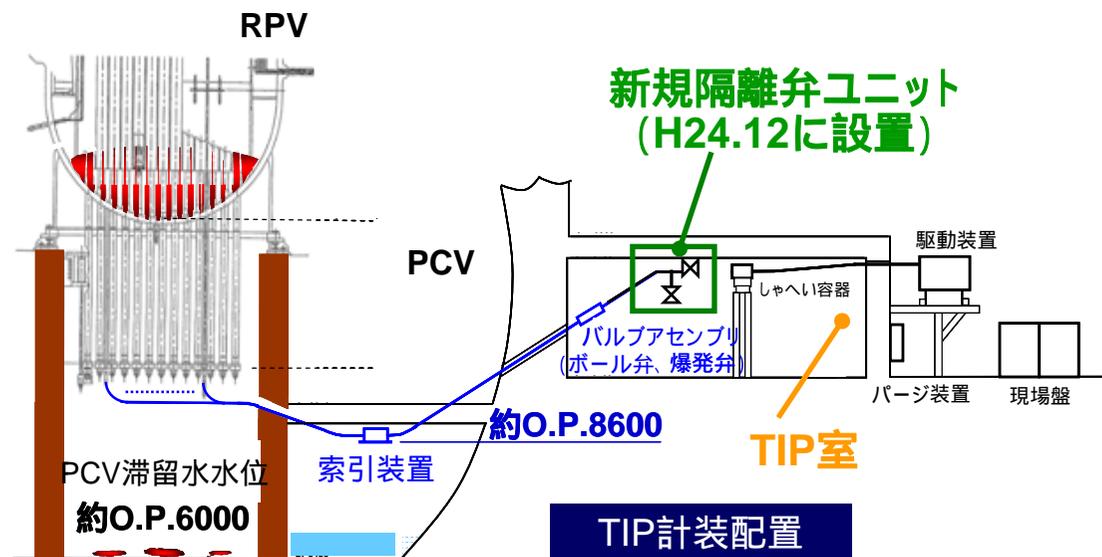
目的・作業概要

目的

- 2号機のTIP案内管を活用した炉内調査や温度計設置の実施可否を判断するために、TIP案内管の健全性確認を実施する。

作業概要

- ファイバースコープをTIP案内管に挿入し、得られる画像よりTIP案内管の健全性(閉塞、破断等の有無)を確認する。



TIP室内配置図

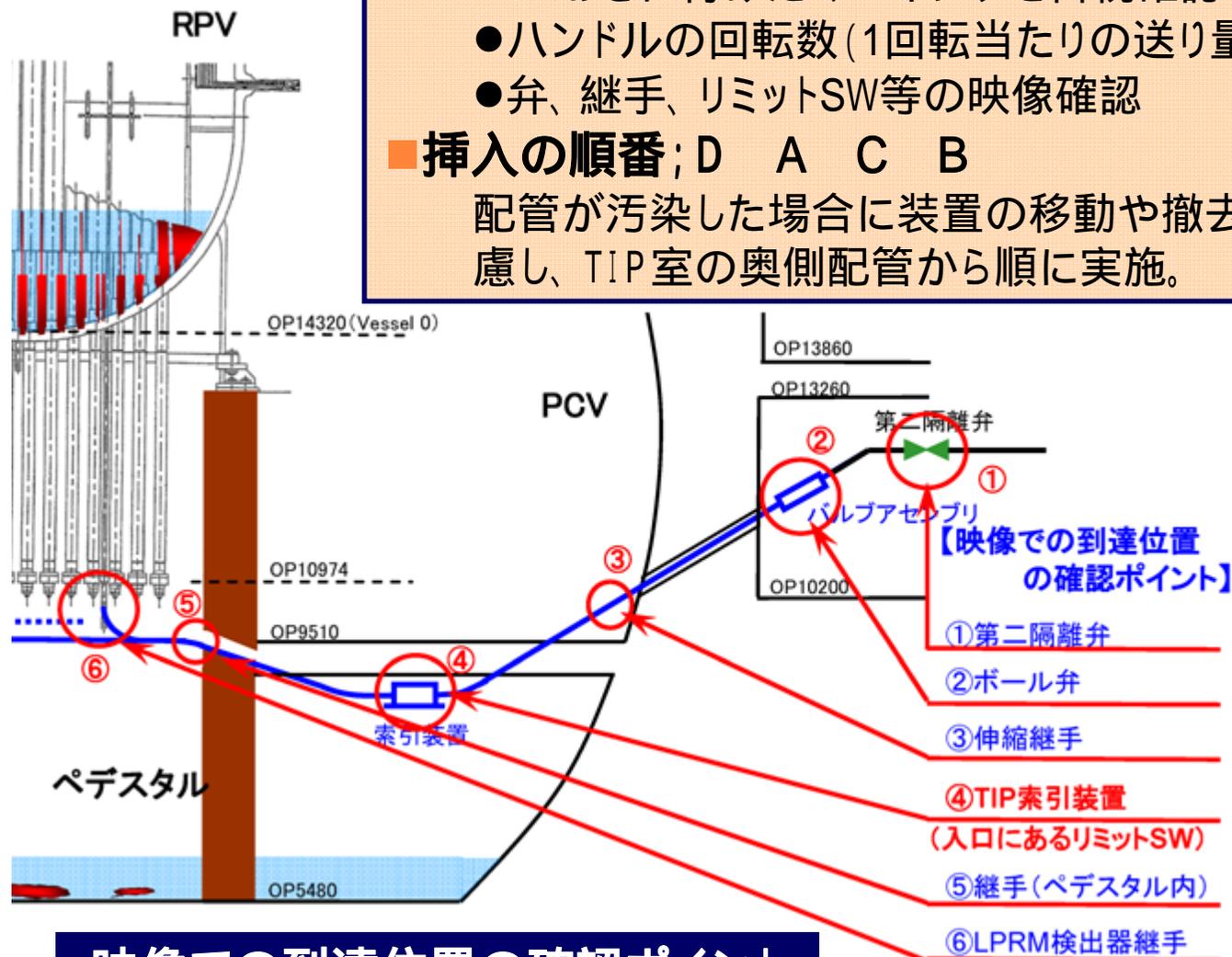
作業手順

■ 送り長さの確認方法

- 5mおきに付けたマーキングを目視確認
- ハンドルの回転数(1回転当たりの送り量を事前に測定)
- 弁、継手、リミットSW等の映像確認

■ 挿入の順番; D A C B

配管が汚染した場合に装置の移動や撤去が困難となるリスクを考慮し、TIP室の奥側配管から順に実施。



■ 作業中断の判断

引き抜き時に、作業空間雰囲気線量 3mSv/h 又は ペネ近傍の表面線量が 30mSv/h を超えた場合は一旦作業を中断しTIP室から退避

工程(案)

ファイバースコープによりTIP案内管(4本)の健全性確認を行う。
 健全性確認結果から、炉内調査の実施項目を決定【3月1日ホールドポイント】。
 温度測定は、**連続測定ができるように送り・巻取り装置改造後に実施【4月】**。

	2月											3月			
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1	2	3	
検討			習熟訓練									確認結果の評価	▽	ホールドポイント	
現場作業	準備作業(TIP室内除染、干渉物撤去含む)					案内管内部確認(健全性確認)(4本)									
						調査対象系統 D A C B									

	3月				4月				5月				6月			
	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週
検討	送り・巻取り装置の改造・習熟訓練															
現場作業					内視鏡若しくはワイヤガイドによる内部確認・温度測定(4本) + 常設温度計設置(1本)											